

● 事業名

高大地域連携事業 KOKÔ 塾まなびの郷

高大地域連携ジョイント・フォーラム

「持続可能な学校づくり・地域づくり」

- 日時 2021年3月6日(土) 13:00～16:00
- 会場 県立粉河高等学校(情報教室)をメイン会場として、粉河特産センター及び県立串本古座高校にサテライト会場を設置、一般参加者はzoomオンライン参加
- 参加人数 70人
- 主催 和歌山大学紀伊半島価値共創基幹・和歌山県立粉河高等学校

● 概要

KOKÔ 塾まなびの郷は、「荒れた学校を再生して、生徒たちに本物の学びを与えたい」という学校づくりへの願いと「地域を活性化し次世代に託したい」という地域づくりへの願いを和歌山大学生涯学習センター(当時)が受け止めて、高校生を主体として地域がともに社会教育プログラムとして開発・実施されてきたものである。それは、参加者(高校生や地域住民等)が自由に意見やアイデアを出し合ってそれらをまとめていく全員参加型の学びを創り出すもので、学校での授業とは異なる非学校型の教育事業であり、主な活動時間は、放課後、土・日及び長期休み中となる。

本事業は2001年の試行に始まり、2002年からは、テーマ別のフィールドワークを主としたWGを編成して、本学の専門分野の教員を指導者として年間にわたり、活動する。1年の流れとしては、4月に事務局会議で今年の日程や進め方を検討、5月に企画委員会を開催し、方針を決定する。6月、参加者全員によるオリエンテーションを行い、WGの所属の決定、各WG毎に年間テーマや活動内容について協議する。その後は、各WGでのそれぞれの活動が年間に渡って随時開催され、2月にその年度の取組みの報告書の作成、年度終わりの3月にジョイントフォーラム(活動成果発表会)を開催し、成果の共有化が進められる。このほか活動の成果については、毎年「活動報告書」が発行されるほか、本学生涯学習部局によって、実践・研究として『10周年史』(2012年)、15周年史『高校が地域コミュニティの核に-高校・大学・地域の連携』(2017年3月)が発刊されている。また、その活動は、ユネスコ主催による「ESD推進のためのインフォーマル教育とフォーマル教育との連携」(2013年10月岡山)等、国内外に受発信されてきた。

2019年度は、長らく途絶えていた「粉河盆踊り」をまちづくりWGの生徒を中心に、地域の諸団体の協

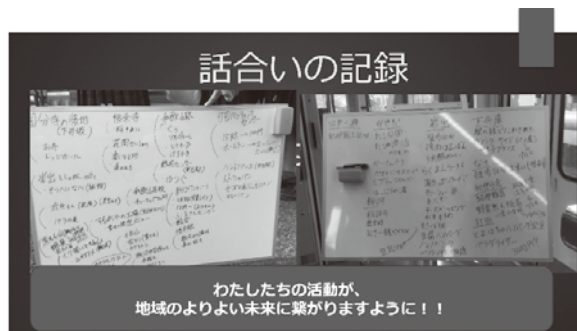


写真 2019年度に実施された「しゃべりば☆トレイン」の様子

力を得て復活した。さらに、教育WGでは、JR和歌山線の活性化プロジェクト「ワカカツ」との協力のもと、JR粉河駅-和歌山駅間を利用して実際の車内で地域の活性化について議論しようとする「しゃべりば☆トレイン」を継続した(2017年～)。また、福祉WGでは、0歳から100歳までのつながりをテーマに、各関連施設への訪問ボランティアや紀の川市の協力を得て、車いす体験という福祉について体験を通して学ぶプログラムを実施した。2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、各WGの活動は、休止した。

年度末に活動成果報告開催しているジョイント・フォーラムは、高大地域連携フォーラムとして、ハイブリット方式により実施した。また、2021年度は発足から20年の記念の年を迎える。

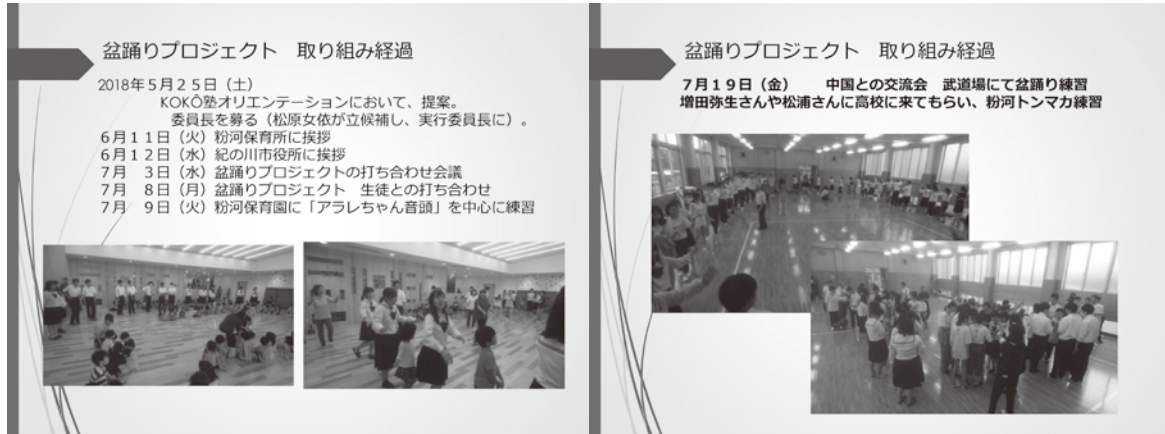
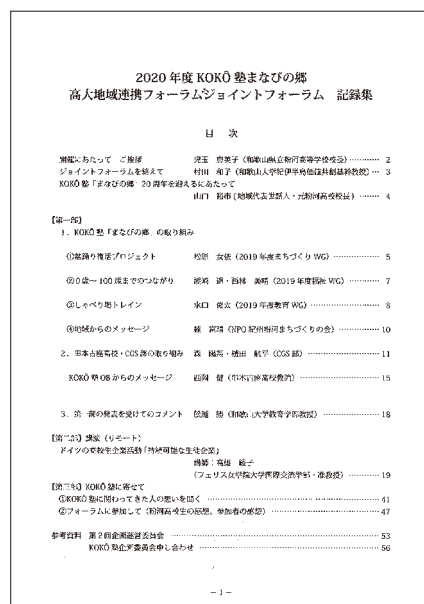


写真 2019年度に実施された「粉河とんまか 盆踊り復活プロジェクト」の様子

●実施内容

高大地域連携ジョイント・フォーラムは、3部構成により、下記の内容で実施した。

第一部KOKO塾まなびの郷の取り組み(2019年度の活動についての生徒からの報告)、第二部リモートによる講演:ドイツの高校生企業活動「持続可能な生徒企業」、講師:高雄綾子氏(フェリス女学院大学国際交流学部・准教授)、第三部KOKO塾に関わってきた地域・先生、OBからの発言。なお、当日の記録は事業報告書として発行されている。



事業に関するお問い合わせ

生涯学習・リカレント教育推進室

E-mail: lifelong@ml.wakayama-u.ac.jp
URL: <https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/lifelong-learning/business/lifelong/koko-cramschool.html>

